



2学期がスタート！進路選択に向けて

夏休みも終わり、2学期がスタートしました。夏休み中も受験勉強に励んだり、高校見学会に足を運んだりするなどそれぞれの進路実現に向けて、努力してきたと思います。明日行われる実力テストでは、学習の成果を発揮し、自分自身に自信がつくことを願っています。

また、進路関係の書類等についての掲示物を3年2組の廊下に掲示しましたので、各自で確認しておいて下さい。(これから重要となってくる『通知書』『調査書』『願書』そして、「基準の見方」について説明してあります。)



進路選択にあたってのポイント

①将来の職業を考える

将来自分が就きたい職業をはっきり決めている人は少ないかもしれませんが、しかし、この機会に自分の特性や適性についてしっかり考え、学んだことが将来につながるような進路選択をしましょう。

②通学時間を考える

通学は1日、2日のことではありません。当たり前のことですが、晴れの日や雨の日もきちんと時間を守って通い続けなければなりません。パンフレットや地図の情報だけではわからないこともたくさんあります。電車の乗り継ぎや待ち時間、混み具合なども実際の時間帯に乗車して確認しても良いと思います。

③自分の学力について考える

入学はしたものの授業について行くことができず、通学する意欲がなくなってしまっはいけません。自分は3年間その学校で何をしたいのかをよく考えて学校を選択しましょう。

④学校見学会・説明会、文化祭に参加する

9月に入ると文化祭も本格化します。文化祭シーズンは各学校の開催時期が重なることも多いですので、事前に日程をよく確認するとともに、複数の高校の文化祭に参加したい場合には、日程を見て計画を立てておきましょう。受験を考えている学校にはぜひ、足を運んでみましょう。

⑤周りの意見も参考にする

情報をたくさん集め、自分にふさわしい学校を選びましょう。その際、保護者の方や担任の先生、先輩などの意見も参考にしましょう。常に人の意見に耳を傾ける態度を忘れないようにしましょう。

⑥家庭の状況を考える（保護者の方へ）

1年間学校に通うためには授業料以外にもさまざまな経費がかかります。毎月の交通費や昼食代、部活動経費や行事(修学旅行など)の積立金なども含めて考えてください。奨学金制度もありますので、ご活用ください。
※あしなが育英会奨学金制度と交通遺児育英会奨学金制度と私立高等学校における学費軽減の補助については、お知らせ済みです。詳しくは各担任にお聞きください。

※ 月末に「第2回進路希望調査」を配布しますので、現在の希望進路先について記入し、9月6日(金)までに担任に提出して下さい。

受験プランを立てよう ～自分の受験プランを考えてみよう～

第一志望校は頭に浮かんでいても、併願となる第二・第三志望校はまだ考えていないという人もいることでしょう。しかし、少しずつではあっても併願校についても検討を始めて下さい。受験に「絶対」ということはありません。

では、第二志望の高校を検討する際に大切なこととは何なのでしょう。それは「もし行くことになっても後悔しないので3年間通うことができる高校を選ぶ」ということです。つまり、第一志望校と同じように、自分のやりたいこと、夢や希望が実現できるかなどの視点をふまえて考えてみましょう。また、第一志望校が公立高校か私立高校かによって、その受験プランも変わってきます。まずは、以下の点に気を付けましょう。

①公立高校は1校しか受けられない

埼玉県立高校は、「一般募集入学者選抜」の1回しか受験の機会がありません。したがって、公立校を複数受験することはできません。そのため公立高校に入学したいと考えている場合は、どの高校を受験するか慎重に選ぶ必要があります。ただし、出願後に志望倍率等を見て、1回だけ志願先を変更できます。また、不合格となってしまった場合に欠員補充実施校を受けることができます。

②私立高校を複数受験する場合は受験日に注意

今年度の埼玉県内の私立入試は1月22日、23日に集中しています。私立高校を複数受験する場合は、受験日が重なっていないことを確認しておかなければなりません。ただし、受験日を複数設定している私立も多いので、上手にスケジュールを組みましょう。

③受験区分に気をつける

私立入試では、おおむね「単願・併願・一般」などの受験区分があります。「単願」で合格したら必ずその学校に入学します。受験区分によって入試日が異なる場合もあるので、スケジュール立ての際に注意が必要です。

④併願校の選び方

併願校には合格の可能性が高い学校を選びましょう。もし併願校を複数受験する場合でも、少なくとも1校は、合格の可能性が高い学校を選ぶことです。個別相談に必ず行き、可能性について相談して下さい。

⑤もし併願校に入学することになっても、3年間後悔しない学校を選ぶ

先述した通り、受験は何が起こるかわかりません。そのため併願校は「もし行くことになっても後悔しないので3年間通うことができる高校」でなければなりません。その学校で過ごす高校生活を具体的に想像して、

◎公立高校が第一志望の場合

公立高校は、多くの私立学校とは異なり入試相談などはありません。たとえどんなに学力レベルで余裕があると思われる学校でも油断はできません。併願校へ入学することも十分視野に入れた上で慎重に検討しましょう。

私立高校を併願する場合は、併願可能な入試を1月下旬から実施しているかどうかのポイントです。1月下旬の早い時期に合格が得られれば、その後の公立入試にゆとりを持って臨むことができます。

◎私立高校が第一志望の場合

私立高校が第一志望の場合、志願校に「単願推薦」や「単願入試」がある場合は積極的に利用しましょう。多くの私立高校が推薦の目安を設けていますので、事前の個別相談会などにおいて合格の可能性を聞くこともできます。また、単願入試であっても、当日の試験で不合格になることもあるため、留意しましょう。なお、単願入試で不合格になったとしても、一般入試で同じ高校を受験することはできます。

具体的な受験プランは？

「令和2年度埼玉県公立高等学校の入試選抜要項」についてウェブ上で公開されていますので、ご覧ください。

○入試相談

埼玉県立総合教育センター入試相談窓口

- * 電話による相談 048(556)2439 (相談窓口直通)
- * E-mailによる相談 p7412216@pref.saitama.lg.jp
- * 入試情報提供 <http://www.center.spec.ed.jp/>

○志願状況等に関する情報提供

- ① 彩の国さいたま公立高校ナビゲーションへのアクセス
 - * パソコンによるアクセス <http://www.navi.spec.ed.jp/>
 - * 携帯電話等によるアクセス <http://www.center.spec.ed.jp/>
- ② 教育局県立学校部高校教育指導課ホームページ <http://www.pref.saitama.lg.jp/f2208/nyuushi.html>